

高成華
(Gao Chenghua)



北京大学 教授

早期教育専門家、教授、医長、修士課程指導教官。北京大学言語聴覚研究センター専門家委員会副主任、華東師範大学就学前・特殊教育学院兼任教授、深圳市特別児童早期介入センター顧問。中国優生優育協会「子どもの脳力開発専門委員会」前主任。

49 ヶ月ベビー計画と家庭教育

21 世紀における人材競争は、母親の胎内にいるときから既に始まっている。生命がはぐくまれる初期から準備をし、子どもの早期発達を促進することは、科学的な育児、早期教育、早期介入の最新の理念になっている。

中国優生優育協会「子どもの能力開発専門委員会」は、浙江省杭州市余杭区政府と協力し、「余杭区三優* 促進プロジェクト及び 49 ヶ月ベビー計画」(2010～2013 年)を実施した。同プロジェクトでは、余杭区全域の新婚夫婦、妊娠中の夫婦、0～3 歳児のいる家庭を対象に、妊娠前の 3 ヶ月間、妊娠中の 10 ヶ月間、出産後の 36 ヶ月間にわたり、ケアサービスを提供した。

乳幼児の生活の中心は、家庭である。そこで、“摇篮网（中国の育児ポータルサイト）”の「成長階段（乳幼児の総合的な能力発達のオンラインテストで、『第 11 次 5 年計画』科学技術支援計画テーマによる成果）」を活用して、保護者に乳幼児の「特定の行動」を観察するよう指導した。保護者に乳幼児の各種能力の発達状況と発達傾向を理解させ、乳幼児の活動や遊びや学びのスタート地点を見つけられるようサポートし、個別化した指導も行った。それらによって、乳幼児が臨界期に最も良い形で発達できるよう促したのである。

「49 ヶ月ベビー計画」は、伝統的なエリート教育から生命と教育のスタート地点へと、保護者の視点を改めて回帰させている。

*三優とは、優生（よく産み）、優育（よく育て）、優教（よく教え）の三つを指す。